

平成25年度に樹立・策定する佐渡森林計画区の概要

1 森林計画区の概要

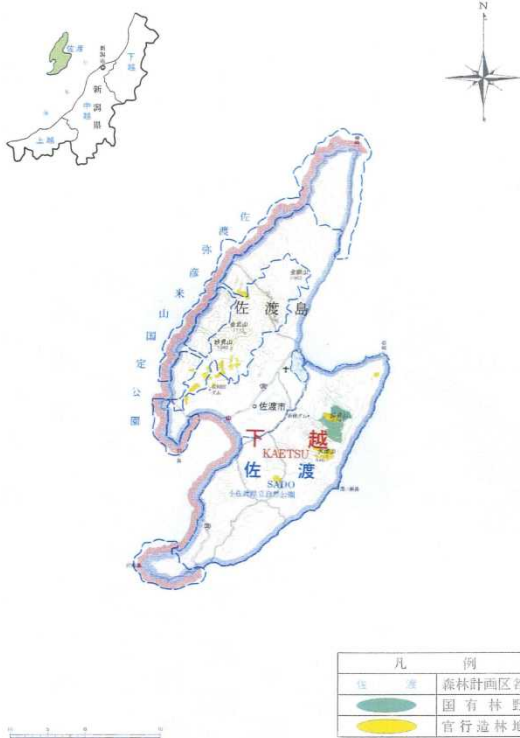


国有林に飛来したトキ



トキの試験放鳥(平成20年9月)

佐渡森林計画区の位置図



ア 位置

当計画区は新潟県新潟市の西方45kmの日本海上のある佐渡島に位置し、佐渡市に所在する国有林約1千haが計画の対象です。

イ 国有林の特徴

- ・ 当計画区の国有林は、絶滅状態にあったトキの保護増殖を目的とし、昭和37年度～昭和45年度にかけて買い入れ、管理をしてきた区域であり、全域が鳥獣保護区に指定され、このうち6割が特別保護地区に指定されています。
- ・ 地域文化への貢献の一つとして、国有林の一部において佐渡の伝統芸能である「鬼太鼓」を未来へつなぐため、太鼓やバチの材料育成を目的としたフィールドの提供などの支援も行っています。

ウ 森林資源の状況

人工林面積は114ha、天然林面積は882haです。

人工林（面積割合）は主に、スギ54%、アカマツ17%、広葉樹28%で、21～40年生が35%、41年生以上が54%となっています。

天然林は、クリ、コナラ等を主とした広葉樹の二次林が多く分布しています。

凡 例	
緑色	森林計画区名
水色	国有林野
黄色	官行造林地

2 現行計画の概要

ア 保護林

該当なし	-	-
------	---	---

イ レクリエーションの森

該当なし	-	-
------	---	---

ウ 国民参加の森林づくり

木の文化を支える森	1箇所	5ha
-----------	-----	-----



鬼太鼓の森づくり(木の文化を支える森)

エ 伐採・保育事業量

主伐	2千m3
間伐	2百m3
人工造林	-
天然更新	3.00ha
下刈	-
つる切	2ha
除伐	7ha
枝打	-

オ トキ営巣木等保全整備事業



トキの営巣候補木

オ 林道の事業量

林道開設	-	-
林道改良	1路線	300m

カ 治山の事業量

保安林の整備	-
保全施設	-



トキの営巣候補木の松くい虫対策(薬剤の樹幹注入)

3 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、国土の保全、水源の涵養機能の向上に資する森林整備をはじめ、国民の皆さんからの期待が高い地球温暖化の防止や生物多様性の保全などにも取り組んでいく考えです。

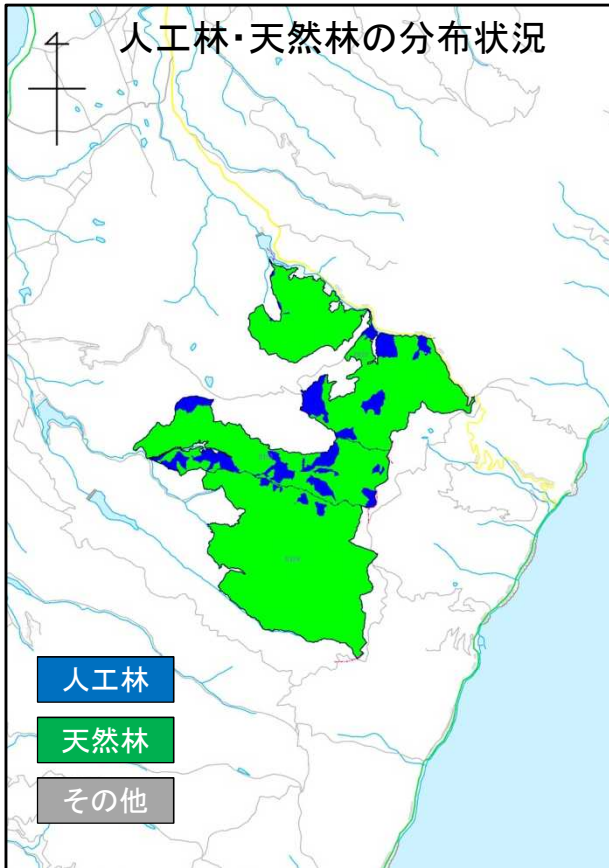
- (1) 国有林野の有する公益的機能のより一層の発揮のため、これまでの3機能類型を5機能類型に見直し。
- (2) 地球温暖化防止のための森林吸収源対策をはじめとする公益的機能の発揮
- (3) 放鳥が進むトキの営巣木保全対策を推進。
- (4) ボランティア団体などが行う森林づくりへの支援。
- (5) 「森林・林業再生プラン」を踏まえ、間伐材の利用推進。

(参考1) 森林資源の現況

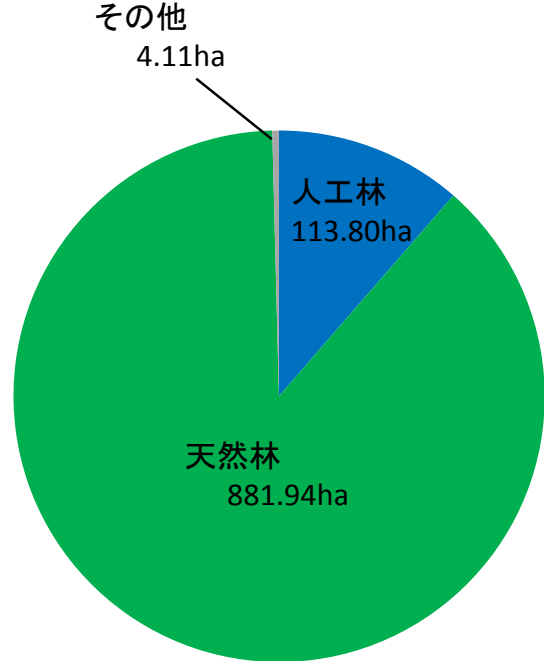
○市町村別森林面積等

市町村名	市町村面積 A (ha)	森林面積 B (ha)	うち国有林 C (ha)	森林率 D=B/A(%)	国有林率 E=C/B(%)
佐渡市	85,526	63,356	1,000	74	2

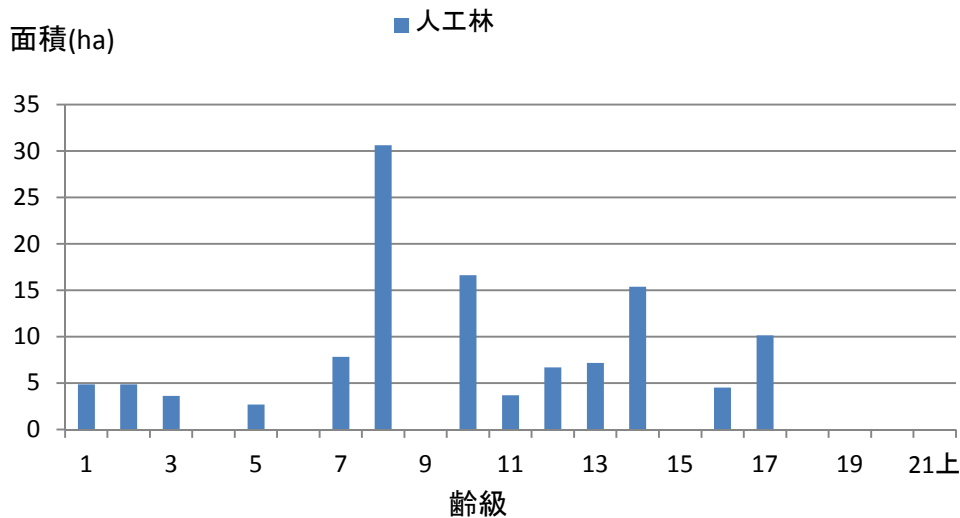
- 注) 1. 市町村面積は、全国都道府県市区町村別面積調(H19.10:国土地理院)による。
 2. 森林面積は、国有林の地域別の森林計画書、国有林面積は、地域管理経営計画書の数値である。
 3. 端数処理の関係で総数は一致しない場合がある。



○人工林・天然林別割合



○齢級別面積



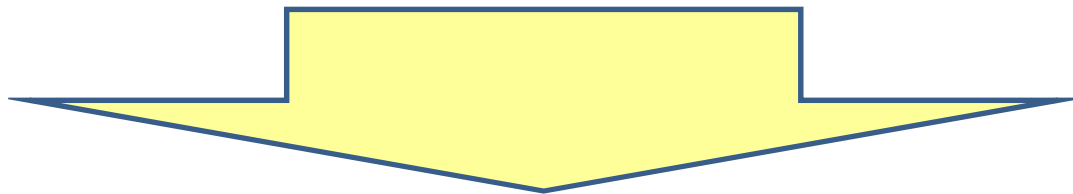
人工林の齢級別では、7 齢級(31年生)～11 齢級(55年生)が多く、間伐の対象となる森林が多いことから、計画的な森林整備等を実施する必要があります。

(参考2)機能類型

機能類型区分について

国有林を重視すべき機能に応じた機能類型に区分し、機能類型にふさわしい管理経営を推進。

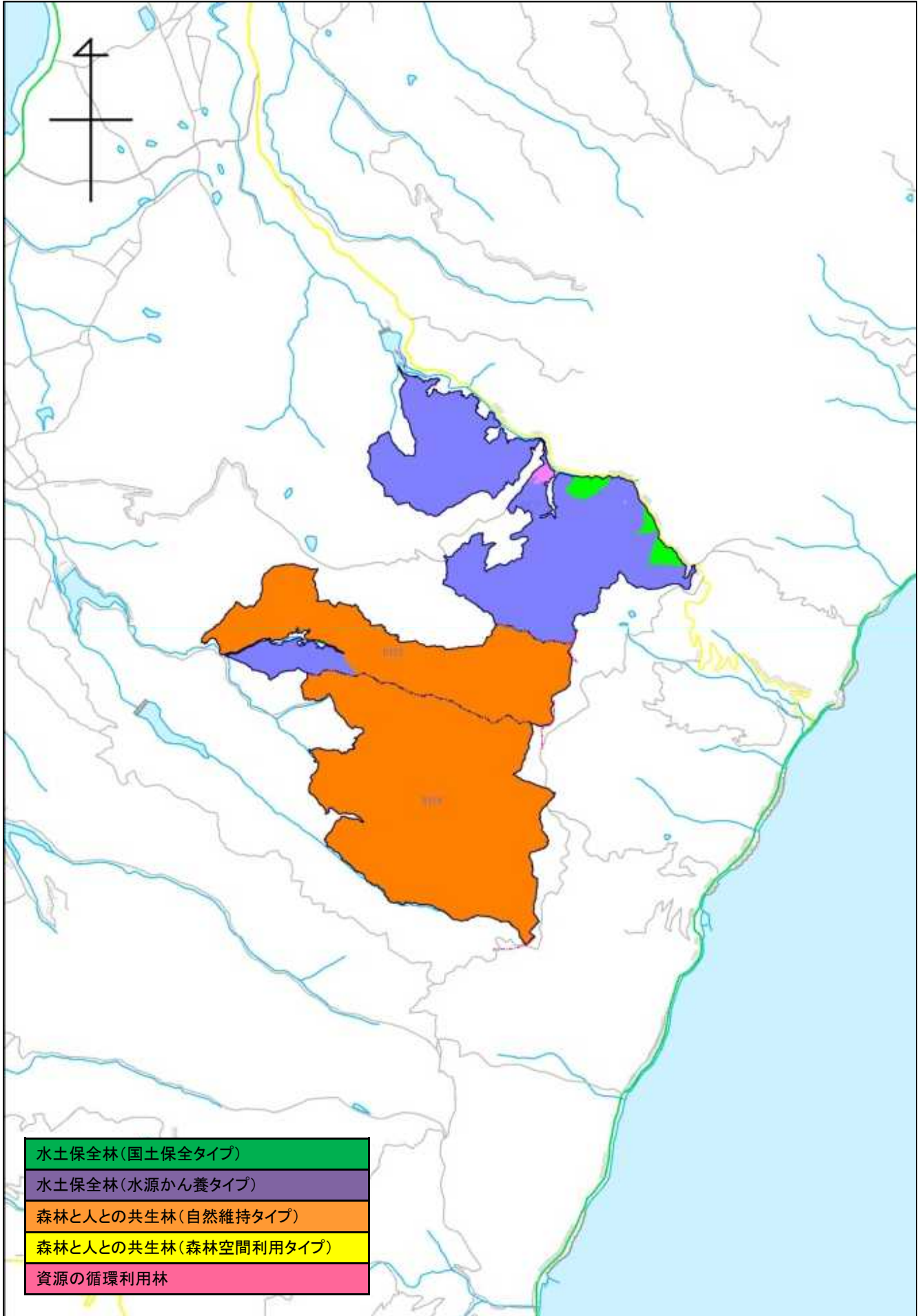
水土保全林	国土保全タイプ	土砂流出・崩壊の防備、水源のかん養等安全で快適な国民生活を確保することを重視する森林	根や表土の保全、下層植生の発達が期待される育成複層林施業、長伐期施業等の推進	1.6%
	水源かん養タイプ			35.9%
森林と人との共生林	自然維持タイプ	原生的な森林生態系等貴重な自然環境の保全、国民と自然とのふれあいの場としての利用を図ることを重視する森林	野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持等	62.2%
	森林空間利用タイプ			—
資源の循環利用林		環境に対する負荷の少ない素材である木材の効率的な生産を行うことを重視する森林	森林の健全性を確保し、多様化する木材需要に応じた林木を育成するための適切な更新、保育及び間伐等の推進	0.3%



○機能類型区分（見直し後）

機能類型区分		機能類型区分の考え方	管理経営の考え方	比率
山地災害防止タイプ	土砂流出・崩壊防備	山地災害防止及び土壌保全機能の発揮を第一とすべき森林	根や表土の保全、下層植生の発達した森林の維持	1.6%
	気象害防備タイプ			—
自然維持タイプ		原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とすべき森林	良好な自然環境を保持する森林、学術的に貴重な動植物の生息に適した森林の維持	62.2%
森林空間利用タイプ		保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とすべき森林	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成	—
快適環境形成タイプ		快適な環境の形成の機能の発揮を第一とすべき森林	汚染物質の高い吸着能力、抵抗性がある樹種から構成される森林の維持	—
水源涵養タイプ		水源の涵養の機能の発揮を第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮	36.2%

機能類型位置図(現行)



(参考3) 国民参加の森林づくり

種 類	内 容	箇所数	面積 (ha)
木の文化を支える森	木の文化の継承を目的とした歴史的な木造建造物、特定の樹材主に依存している工芸品及び祭礼行事等の資材を確保するための森林整備・保全活動を行うフィールドを提供しています。	1	5

